

売上収益(億円)

2,500

素材で未来をつくる愛知製鋼のDNA

「よきクルマは、よきハガネから。」



創業者 豊田喜一郎の熱い想いを原点に当社は創業以来、社会課題と向き合い、素材でモノづくりの可能性を広げることで社会に貢献してきました。その創業の精神を「よき社会は、よき素材から。」という想いへ進化させ、価値を生み出し続ける源であるDNAを継承し、培ってきた技術や技でつくり上げた素材や部品で、持続可能な社会の実現に向け、未来へ挑戦し続けます。

1,500

1,000

500

1934~

1960

1970

1980

1990

2000

2010

2022 2030

■ 売上収益
■ 営業利益

営業利益(億円)

250

200

150

100

50

0

創業期

成長期

DNAを深化(モノづくりの可能性を広げる)



礎づくり 国内自動車産業の発展に大型投資で果敢に対応

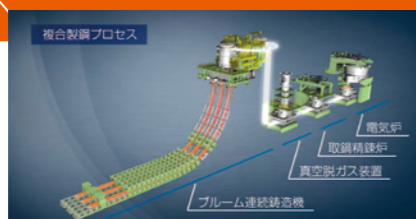
- 品質・原価の「国際競争力」獲得を目指し、大型電気炉、最新圧延設備などを新設、生産能力を2.5倍に増強
- モータリゼーション進展による鍛造品の需要増大・高品質化ニーズに応えるため量産体制を構築、「鍛鋼一貫体制」がスタート

原点 自動車産業に不可欠な材料を自らの手でつくる

- 自動車材料に適した耐久性と切削性を両立する優れた鋼を自らの手でつくるために豊田自動織機製作所の製鋼部として発足



製鋼部で作成した部品を搭載したA1型試作乗用車

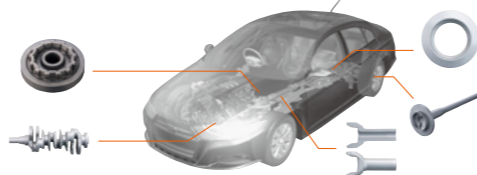


挑戦 「複合製鋼プロセス」を実現

- QCDの飛躍的な向上と省エネルギー化を目指し、最先端の鉄鋼製造要素技術を組み合わせた「複合製鋼プロセス」を世界に先駆け導入



自動運転支援システム「GMPS」が採用されたBRT専用大型自動運転バス
画像提供：東日本旅客鉄道株式会社



循環 地球環境への配慮

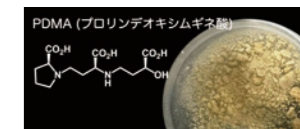
- 廃自動車のリサイクル技術、副産物であるスラグの再利用技術を開発・実用化。サーキュラーエコノミーの確立に向けた活動を加速

拡張 グローバル化と新ビジネス

- 当社初の海外鍛造生産拠点を設立、海外における安定供給体制を構築し、自動車産業のグローバル化に貢献
- 電子・磁性部品の本格生産を開始、スマート社会への挑戦をスタート

深化 社会課題の解決を素材の力で

- 創業の精神を「よき社会は、よき素材から。」へ進化、SDGsへの貢献に向け、モビリティを中心に環境・安全・医療・食料など幅広い事業分野を開拓



PDMA (ポリジメチルシロキサン系)
食料不足の解決を目指して開発中の生分解性殺菌剤「PDMA」



世の中の動き

1939~1945

第二次世界大戦

1960~70年代

日本の高度経済成長期

1985年

プラザ合意

2008年

リーマンショック

2015年

パリ協定/持続可能な開発のための2030アジェンダ

2020年

日本政府が「2050年カーボンニュートラル宣言」発表
新型コロナウイルス感染症の拡大